

### 東成区区の目標（何をめざすのか）

- ・ 区民ひとりひとりが未来に希望を持てる住みよいまちをめざす
- ・ 区民がまちづくりや区政に参画し、生きがいを感じ、安全・安心でいきいきとしたまちをめざす

### 東成区の使命（どのような役割を担うのか）

- ・ 区民の要望や地域活動情報を多面的に把握し、区役所が主体的に調整機能を発揮することで、地域特色を活かしたまちづくりに区民と協働して取り組み、多くの区民にまちづくりや区政に参画してもらう
- ・ 区民の日常生活の安全・安心や子育て、教育、福祉などを担う総合拠点として、区の課題解決に取り組むとともに、区民が利用しやすく信頼される区役所とする
- ・ 東成区のために区民とともに目標とするまちづくりを進める職員を育成する

### 平成28年度 区運営の基本的な考え方（区長の方針）

- ・ 区の防災力の強化に向けて、地域の特性を踏まえた防災活動を支援するとともに、学校との連携を深めるなど地域や学校の防災・防犯意識の向上に取り組みます。
- ・ 地域で安心して子育てができる環境を作るとともに、地域や学校・PTA等との連携により特色ある学校づくりを推進します。
- ・ 高齢者や障がい者が安心して暮らせるよう、地域社会全体で支援する仕組みづくりを進めるとともに、区民の健康に対する意識の向上に取り組みます。
- ・ 地域の実態に合った活動を進められるよう、地域活動協議会への支援及び区民・各種団体等との連携の強化、地域資源の活用により、多くの区民の参加によるまちの活性化に取り組みます。

### 平成28年度運営方針(素案)の5つの柱

1. 安全で安心なまちづくり(防災・防犯)
2. 教育環境と子育て支援の充実
3. 地域福祉と健康づくりの充実・推進
4. まちの魅力向上
5. 区民が利用しやすく信頼される区役所づくり

# 平成 28 年度東成区運営方針（素案）の策定に向けて

# 課題 1 安全で安心なまちづくり「防災」

## 平成 28 年度東成区運営方針策定の方向性

### 区役所が考える方向性

【めざすべき将来像】(概ね 10 ~ 20 年を念頭に設定)  
 ・災害の発生に備えて住民同士が助け合う体制が整っている。

【めざす状態】(概ね 3 ~ 5 年を念頭に設定)  
 防災・減災に繋がる地域実態を踏まえた、地域による地区防災計画が策定され、地域特性に応じた防災訓練が実施されている状態

地域において、「地区防災計画」が策定されるよう啓発するとともに、策定に必要な支援を行う。中長期を意識した収容避難所運営訓練等、多様な主体が参加できるよう防災に係る啓発を行うとともに、防災訓練の実施を支援する。学校園が防災教育を推進できるように支援する。

## メモ



地域の防災訓練の様子



小学校での「防災教室」の様子

### 現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

#### 地区防災計画の策定

検討中	4 地域 / 11 地域
策定完了	1 地域 / 11 地域

#### 地域防災訓練の内容

初期消火・救助訓練	11 地域 / 11 地域
避難訓練	11 地域 / 11 地域
収容避難所開設訓練	11 地域 / 11 地域
収容避難所運営訓練	2 地域 / 11 地域

### 要因分析（現状・データから導かれる分析結果）

- ・すべての地域で、災害時の初期初動訓練（初期消火・救助・収容避難所開設訓練）が実施されており、地区防災計画を策定した地域では、地域特性に応じた初期初動訓練が実施されている。
- ・中長期の避難所運営訓練は、2 地域の実施にとどまり、その必要性が浸透していない。

### 課題（上記要因を解消するために必要なこと）

- ・各種訓練の計画的・組織的な遂行には、地域による地区防災計画の策定支援を行い、防災・減災に繋がる地域特性に応じた防災活動を継続実施していく必要がある。
- ・中長期の避難生活を想定した収容避難所運営訓練の支援が必要である。

## 平成 27 年度東成区運営方針

### 主な取組みと中間振り返り

#### 取組み名【地域防災対策の支援】

- < 取組実績 >
- ・地域住民で組織された自主防災組織（地域防災リーダー）の技術訓練を実施（5 ~ 6 月）
  - ・8 地域で震災訓練を実施（9 月） 3 地域については 11 月実施予定
  - ・区役所職員震災訓練の実施（9 月）
  - ・地域による地区防災計画の策定に向けたワークショップ等実施に向けた調整
  - ・中長期を意識した収容避難所運営訓練の実施（2 地域）

#### < 中間振り返り >

取組みは予定どおり進捗しており、目標を達成できる見込みである。

# 平成 28 年度東成区運営方針（素案）の策定に向けて

# 課題 1 安全で安心なまちづくり「防犯」

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）			
子ども事案の発生件数		自転車盗の発生件数	
平成 26 年	平成 27 年	平成 26 年	平成 27 年
10 件	18 件	272 件	308 件
26 年（1 月～12 月）：23 件		26 年（1 月～12 月）：454 件	
安まちメールより集計			
街頭犯罪発生件数		【表中の数値は 1 月～8 月の暫定値】	
平成 26 年	平成 27 年		
463 件	476 件		
26 年（1 月～12 月）：777 件			

## 平成 28 年度東成区運営方針策定の方向性

**区役所が考える方向性**

【めざすべき将来像】（概ね 10～20 年を念頭に設定）

- ・区民の防犯意識が高く、街頭犯罪が起こりにくい地域環境となっている。

【めざす状態】（概ね 3～5 年を念頭に設定）

- ・子どもの事案が減少している状態
- ・街頭犯罪を減らし、「安全で安心して暮らせるまち」になっている状態

子どもの自主防犯意識の向上を図る。  
防犯意識を高め、地域の自主防犯活動の促進を図るとともに、警察などの関係機関と連携し、犯罪抑止のための効果的な防犯対策に取り組む。

**要因分析（現状・データから導かれる分析結果）**

- ・子ども事案、街頭犯罪の発生件数は昨年と同レベルで発生しており、依然として高い数値で推移している。

**課題（上記要因を解消するために必要なこと）**

- ・地域の自主防犯活動の促進を図り、区役所職員（あんパト）や街頭犯罪防止チーム（市民局委託業者）による青色防犯パトロールカーや自転車による巡回をはじめ、警察や地域との連携による犯罪の抑止活動に取り組む必要がある。
- ・学校の土曜日授業などを活用して防犯教室を行い、子どもが犯罪に巻き込まれないよう啓発するとともに、犯罪に巻き込まれそうになった場合の緊急回避行動の習得に取り組む必要がある。
- ・自転車盗、ひったくりなどの街頭犯罪に対し、警察や地域との連携により、ツーロックキャンペーン、ひったくり防止カバー取り付けキャンペーン等を行い、区民が被害者とならない啓発に取り組む必要がある。

## メモ

**平成 27 年度東成区運営方針**

**主な取組みの中間振り返り**

取組み名【防犯意識の向上と関係機関との連携強化】

< 取組実績 >

- ・自転車盗防止啓発ポスターのコンビニ等への掲示依頼（約 120 カ所）
- ・ひったくり防止キャンペーンの実施（13 回）
- ・安全安心ミニフェスタの開催（9 月）
- ・随時、所轄警察署と防犯・交通安全等について情報交換を実施
- ・子どもの防犯教室を 2・3 学期の開催に向け、区内小学校との調整（実施予定：11 校）
- ・街頭犯罪の発生状況を視覚的にわかりやすくするため、地図に犯罪種別ごとに色分けを行いポイントニングし、区役所 1 階ロビーに設置した。
- ・地域の自主防犯活動の促進を図り、区役所職員（あんパト）や委託業者による青色防犯パトロールカーや自転車による巡回

< 中間振り返り >

取組みは予定どおり進捗しており、目標を達成できる見込みである。



「ひがしなり安全・安心ミニフェスタ」

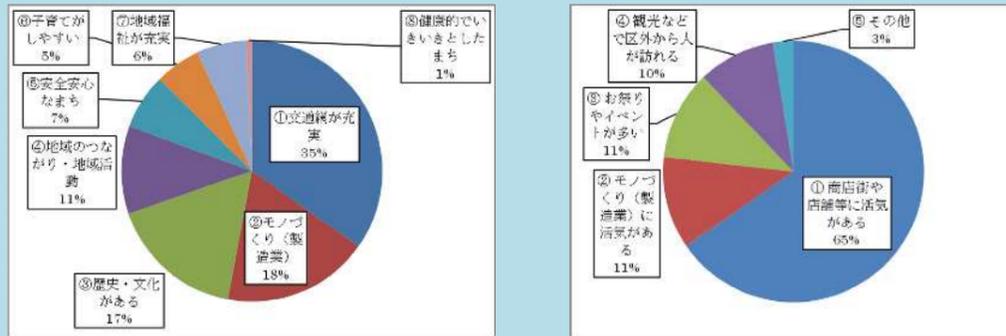


あんパトチームによる啓発活動の様子

課題 4 まちの魅力向上「多様な協働による地域活動の活性化」

平成 28 年度東成区運営方針（素案）の策定に向けて

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）



東成区の「まちの魅力」とは？

【平成 26 年度区民モニターより】

「にぎわいのあるまち」とは？

【平成 27 年度区民モニターより】

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）

東成区の「まちの魅力」についてのアンケートでは、「交通の利便性」が最も多く、続いて「モノづくり」「歴史・文化」の順であった。また、「にぎわいのあるまち」についてのアンケートでは、「商店街や店舗等に活気がある」が最も多く、続いて「モノづくり」「お祭りやイベント」という結果であった。

課題（上記要因を解消するために必要なこと）

東成区のまちの魅力を高め、にぎわいのあるまちづくりを推進するためには、東成区の特徴であるモノづくりや商店街、お祭り・イベント等を PR し、より活性化する必要がある。

平成 27 年度東成区運営方針

主な取組み中間振り返り

- < 取組実績 >
  - 取組み名【多様な協働による地域活動の活性化】
    - 東成区の地域資源を活用して、区民や各種団体等のネットワークづくりを推進し、地域の活性化に繋げるため「ひがしなり街道玉手箱」を開催する。（11月開催予定）
    - 企画チーム会議の開催...週1回ペースで開催 参加団体交流会の開催...4回
  - 取組み名【市民活動団体等との協働による課題解決】
    - 協働型事業委託の採択事業件数：2件
  - 取組み名【ふれ愛パンジーまちづくり活動支援事業（東成区市民活動推進助成）】
    - 市民活動推進補助金の交付件数：2件
  - 取組み名【モノづくり次世代育成支援事業】
    - 住工共存まちづくり懇談会の「わが町工場見ため隊」（工場見学の開催）
- < 中間振り返り >
  - 取組みは予定どおり進捗しており、目標を達成できる見込みである。

平成 28 年度東成区運営方針策定の方向性

区役所が考える方向性

【めざす将来像】（概ね 10～20 年を念頭に設定）

東成区のまちに魅力やにぎわい、活気があり、区民が愛着を持って暮らしている。

【めざす状態】（概ね 3～5 年を念頭に設定）

様々な活動主体と区役所が協働により、地域資源を活用してにぎわいや活気のあるまちづくりが進められている状態

新たな担い手を発掘するため、ふれ愛パンジーの活用やイベントの開催を通じて、様々な活動主体が交流できる機会や場の提供を行う。

東成区の魅力を高めるため、地域資源を活用し、にぎわいや活気の創造に取り組む。

メ モ



「ひがしなり街道玉手箱」参加団体交流会



「わが町工場見ため隊」（工場見学）

## 平成 28 年度東成区運営方針（素案）の策定に向けて

## 現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

- ・まちづくり活動に参加したいと思う区民の割合：73.5% [前年度比 + 4.5 ポイント]
  - ・まちづくり活動に取り組んだことのある区民の割合：24.8% [前年度比 + 0.2 ポイント]
  - ・地域活動を始めたいときにどうすればいいかなど地域活動に参画しやすい環境が整っていると感じている区民の割合：32% [前年度比 - 2.3 ポイント]
  - ・地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業など多様な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合：24% [前年度比 - 2.7 ポイント]
- 【数値は平成 26 年度区民モニターより】

## 要因分析（現状・データから導かれる分析結果）

- ・東成区では、地域コミュニティの活動が活発なまちである。しかし、活動者の高齢化・固定化がみられる。
- ・地域コミュニティを活性化させ、複雑多様化する地域課題の解決には、地域課題や資源等をよく知っている地域団体等や市民、NPO、企業等の活動主体と行政が協働して取り組む大切である。しかし、地域活動に参画しやすい環境が整っていると感じている方や、多様な活動主体の協働が進んでいると感じる方は、少ない状況である。

## 課題（上記要因を解消するために必要なこと）

- ・より多くの区民が地域活動へ参加・参画できるよう、地域や取り組みの情報が広く発信されるとともに、一層の開かれた地域コミュニティづくりを進める必要がある。

## 平成 27 年度東成区運営方針

## 主な取り組み中間振り返り

## &lt; 取組実績 &gt;

## 取り組み名【地域活動協議会に対する支援】

- ・地域活動協議会に対する補助金を交付し、補助金の用途の区ホームページでの公表
- ・各地域の会議や事業へ地域担当職員が参加し地域ニーズや情報の収集...随時
- ・広報紙への地域情報の掲載...毎月掲載（6回）

## 取り組み名【地域コミュニティの支援】

- ・中間支援組織を活用しての勉強会・交流会等の開催...3回
- ・民主的で開かれた組織運営と会計の透明性を確保するための専門的なアドバイスの実施...随時

## &lt; 中間振り返り &gt;

取り組みは予定どおり進捗しており、目標を達成できる見込みである。

## 課題 4 まちの魅力向上「区民主体のまちづくりの支援」

## 平成 28 年度東成区運営方針策定の方向性

## 区役所が考える方向性

【めざす将来像】（概ね 10 ~ 20 年を念頭に設定）

- ・様々な活動主体が互いに理解し信頼し合いながら協働する豊かなコミュニティとなっている。
- ・これらの活動主体が行政と協働して地域課題に取り組んでいる。

【めざす状態】（概ね 3 ~ 5 年を念頭に設定）

様々な活動主体が地域活動に参画し、地域課題に取り組んでいる状態

地域において、様々な活動主体が参画し、地域特性を活かした地域活動が行われるよう、地域活動協議会への支援を行う。

自律的な地域運営を行うことができるように、中間支援組織を活用しての専門的なアドバイスや情報発信、交流の場等の提供を行う。

## メ モ



地域活動協議会の交流会



各地域で特色ある取り組み

（写真は「ほうえいさんぽ」の様子）